

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋 尚代
全体計画				経費区分			—		内線		3613
事務事業名 4246 児童クラブ運営事業											
所 属 300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策 02020900 子育て環境の充実											
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童クラブ費									
	事業	010000 児童クラブ運営事業									
事業目的	事業概要・効果										
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するため、児童クラブの運営を行う。	⑨児童クラブの運営と、2民間の団体に児童クラブの運営を委託。 スポーツ・文化・交流活動推進事業の実施。 児童クラブの施設維持管理。										

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。 職員の巡回による相談・指導を実施した。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。 職員の巡回による相談・指導を実施した。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		61,116	77,390
特 定 財 源	国庫支出金	16,101	21,167
	都道府県支出金	16,101	21,167
	地方債	0	0
	その他	11,400	12,920
一般財源		17,514	22,136
人 員 数 (人)	正規職員	0.3	0.5
	嘱託職員	0.4	0.0
	臨時職員	0.5	0.5
	計	2,144.7	3,574.5
人 員 コス ト	正規職員	1,106.4	0.0
	嘱託職員	589.5	589.5
	計	3,840.6	4,164.0
	市民一人当たりの経費	1.2	1.6
総額		64,956.6	81,554.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	20	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼
11節 需用費	2,702	消耗品費、燃料費、食料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	15,114	1町・2民間児童クラブ事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	10	会議等出席負担金
その他	43,270	賃金 ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	52	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼
11節 需用費	4,810	消耗品費、燃料費、食料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	21,827	学童保育システム委託料 2 民間児童クラブ事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	15	会議等出席負担金
その他	50,686	賃金、役務費、使用料及び賃借料 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	子ども・子育て支援事業の放課後児童健全育成事業を推進する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保護者が安心して就労でき、児童が安全に放課後を過ごすことができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	放課後児童支援員の資格取得。 月1回の会議による職員間の情報交換。 児童センター所長のクラブ巡回による指導・相談。 各種研修会の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

資格取得のための研修参加ができた。
 庁内研修への参加により意識の向上が図られた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	2次評価コメント			
将来的には、指定管理者制度の導入などを検討	仁礼児童クラブの老朽化対策（仁礼小学校内への移設）が必要			

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント